

校長室から 5. とともに生きる

～ 保土ヶ谷養護学校との連携 ～

光陵高校の立地する権太坂のすぐ隣に、神奈川県立保土ヶ谷養護学校があります、様々な連携、交流活動を行っています。

本校では、毎年1年生が、秋に保土ヶ谷養護学校高等部との授業体験交流を実施しています。1年生全員が、保土ヶ谷養護学校の先生から養護学校の生徒たちの様子などのレクチャーを受けた後、1日1クラスずつ、8回に分かれて保土ヶ谷養護学校にお邪魔をして、半日一緒に過ごします。朝のHR、グラウンドでの「体力づくり」、そして、作業学習ではその内容によっていくつかの班に分かれます。本校生徒が保土ヶ谷養護学校の生徒さんから道具の使い方を教わる場面や、話をしながら活動する場面なども見られます。活動後の生徒の感想をいくつか紹介します。

- 作業学習では、時間がかかってもとてもクオリティの高い作品ができていて驚いた。
- 集中力の高さや、手先の繊細さに驚いた。
- 自分の作業に集中しながらも、必要な道具を用意してくれたり、やり方を説明してくれて、とても楽しかった。
- 障がいのある方について知っているつもりではあったけれど、違ったことや新たな一面も見ることができて、良かったです。
- 障がいにはいろいろあって、その障がいの重さも人それぞれだということ、身を持って知ることができた。
- 実際に障がいのある方と半日過ごしてみて、自分の思っていたことと現実の差を埋めることができ、良い体験になったと思いました。
- これから社会に出て、そこで初めて障がいのある方と接するのではなく、今のうちから接し方などを少しでも知ることができたので、すごく良かったと思う。
- コミュニケーションをとることが難しい人との接し方を知ることができたこと、その人たちと一緒に集中して作業ができたことは本当に貴重な経験だったと思う。
- 社会貢献につながる、とても大切な知識を得ることができた。
- 私たちも頑張ろうと思うことができました。



かながわ人づくりコラボ 2019

11月2日（土）に横浜市西公会堂で行われた「かながわ人づくりコラボ 2019」では、本校1年の丹羽さんが登壇し、共生社会の実現に向けて私たちがどう取り組んでいったらいいのか、授業体験交流での作業学習や「ボッチャ」などの体験を踏まえて意見を述べました。

12月1日（日）、「劇団四季」で活躍した高島田薫さん指導による「ミュージカル・チャレンジ教室」が保土ヶ谷養護学校で行われました。当日は、保土ヶ谷養護学校の生徒さんだけでなく、周辺地域に住む子どもたちが大勢集まりました。そして、本校からもダンス部員16名と一緒に参加し、子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。歌を歌ったり、体を動かしたりしているうちに、自然とコミュニケーションがとれ、手を取り合ったり、支え合ったりしながら、歌とダンスを楽しむことができました。短い時間の中で、子どもたちと温かい雰囲気と一緒に活動することができるのも、生徒全員が1年生の時に授業体験交流を体験している成果だと思えます。



ミュージカル・チャレンジ教室

12月11日（水）には、毎年恒例、本校吹奏楽部によるクリスマスコンサートを実施しました。生徒たちの演奏に合わせて、小学部・中学部・高等部の子どもたちが体でリズムをとったり、一緒に口ずさんだりしている様子が随所に見られ、演奏が終わるたびに大きな拍手をいただきました。特に、「パプリカ」の演奏では、立ち上がって踊るなど、会場中が大変盛り上がりました。自分たちの演奏をこんなにも楽しんでもらえることに、吹奏楽部の生徒たちも嬉しそうな笑顔にあふれていました。



吹奏楽部クリスマスコンサート

この他にも、サッカー部によるサッカー交流、さらに、12月19日（木）には、卒業を控えた本校3年生と保土ヶ谷養護学校の生徒さんとのスポーツ交流も実施しました。

こうした活動をとおして、障がいのある人と同じ空間でともに生活していくことが当たり前になっていくことでしょう。そして、生徒たちは、「心やさしき社会のリーダー」として「ともに生きる社会」の担い手となると思えます。



スポーツ交流（ボッチャ）